

千葉県立病院改革プランの 結果について (H21~H23)

平成25年1月18日（金）

千葉県立病院運営懇談会

千葉県立病院改革プラン (H21年3月策定) の概要

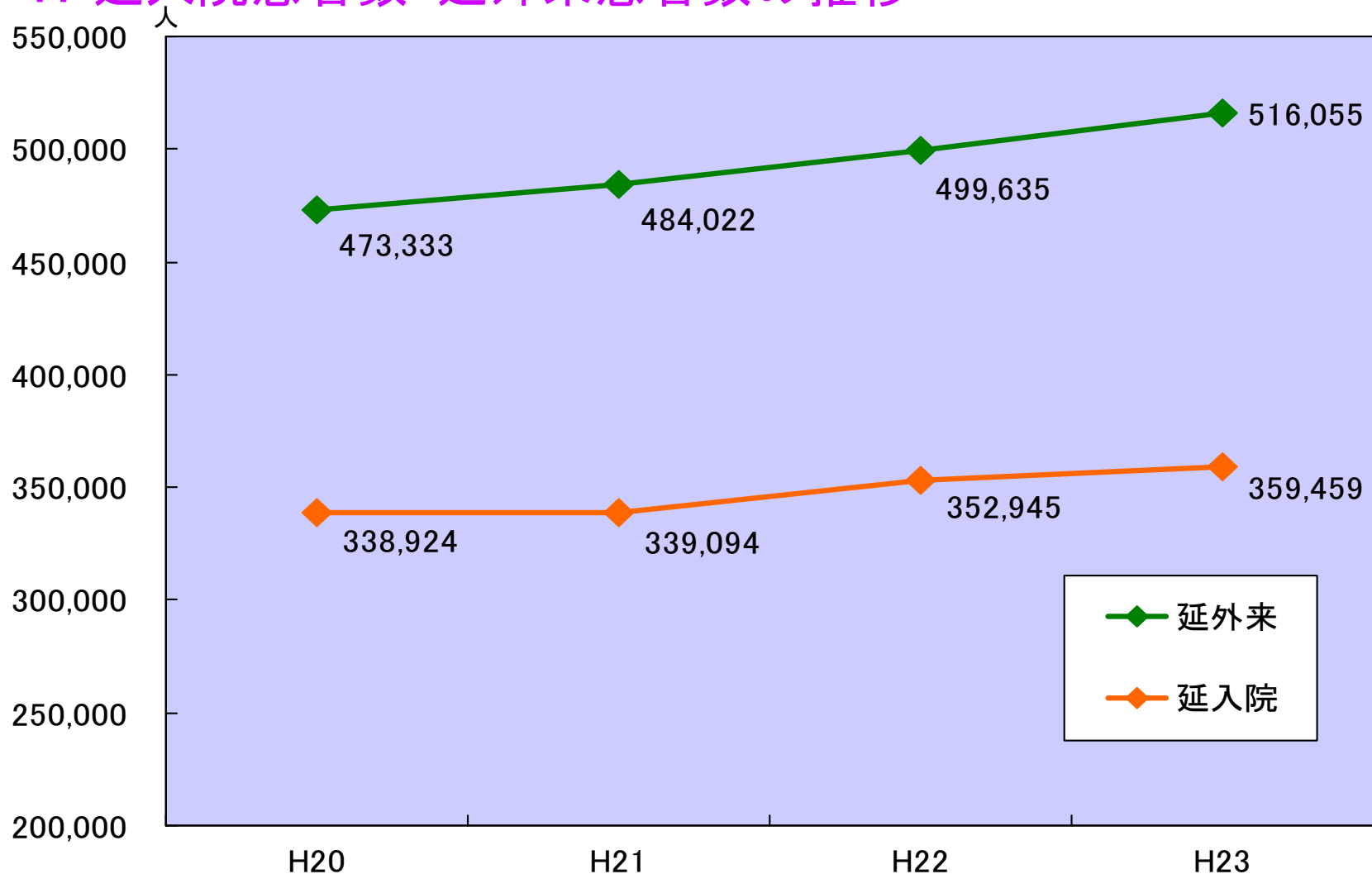
① 経営の効率化に係る計画 (最終:平成23年度)

- ・ 委託契約の見直し(複数年契約等)、医薬品・診療材料の共同購入拡大などによる経費の削減
 - ・ 平成23年度 7病院合計の黒字化
 - ・ 平成25年度 7病院+経営管理課の黒字化
- 平成22年度達成

② 再編・ネットワーク化

- ・ 東金病院は東千葉メディカルセンター開院(26年4月予定)時に閉院
→平成26年度から県立病院は6病院体制

1. 延入院患者数・延外来患者数の推移

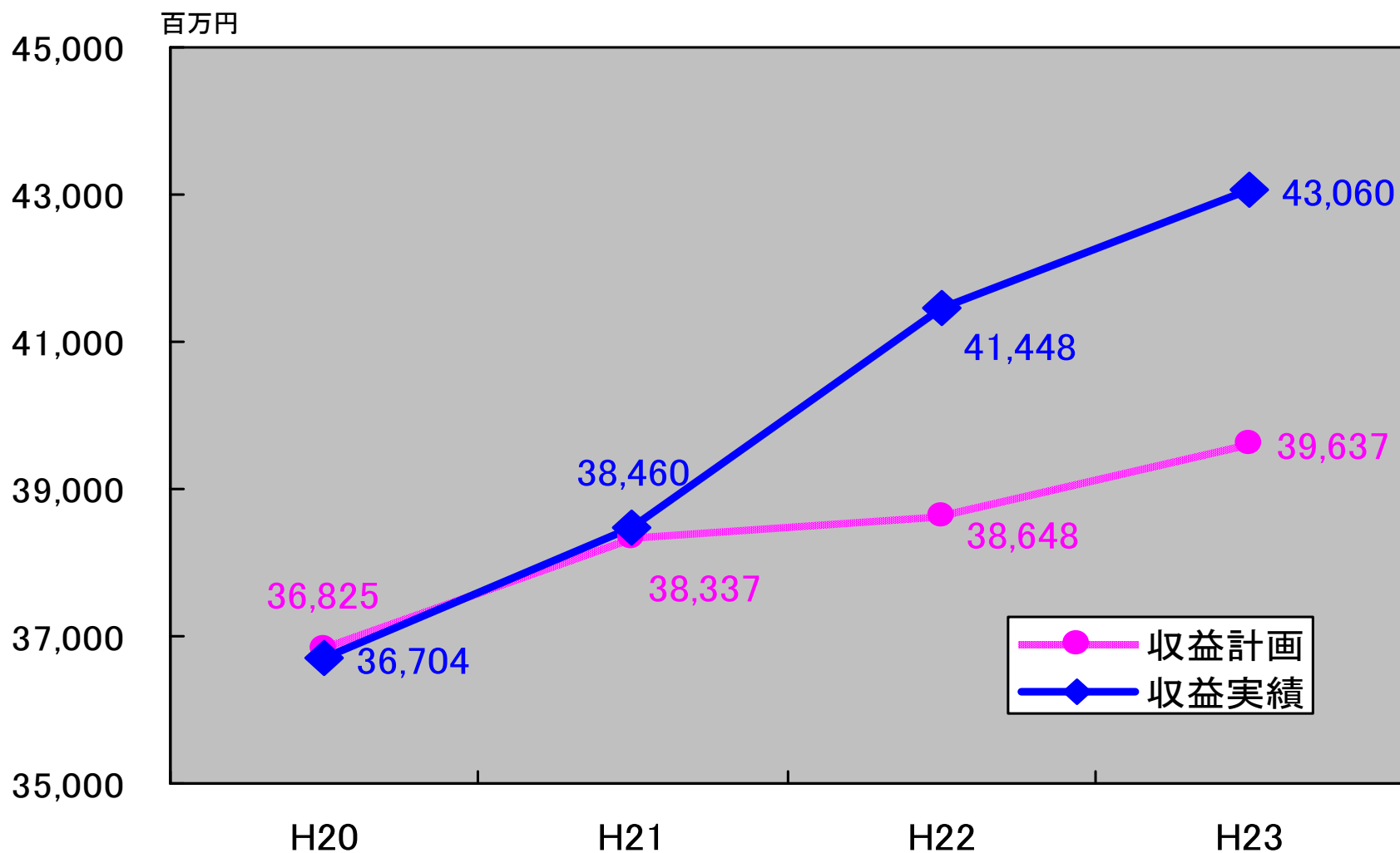


H20→H23の患者の増加(延入院+20,535人 延外来+42,722人)

延入院:がんセンター+10,606人 佐原病院+8,406人 こども病院+7,173人

延外来:佐原病院+25,470 がんセンター+17,571人 こども病院+4,412人 2

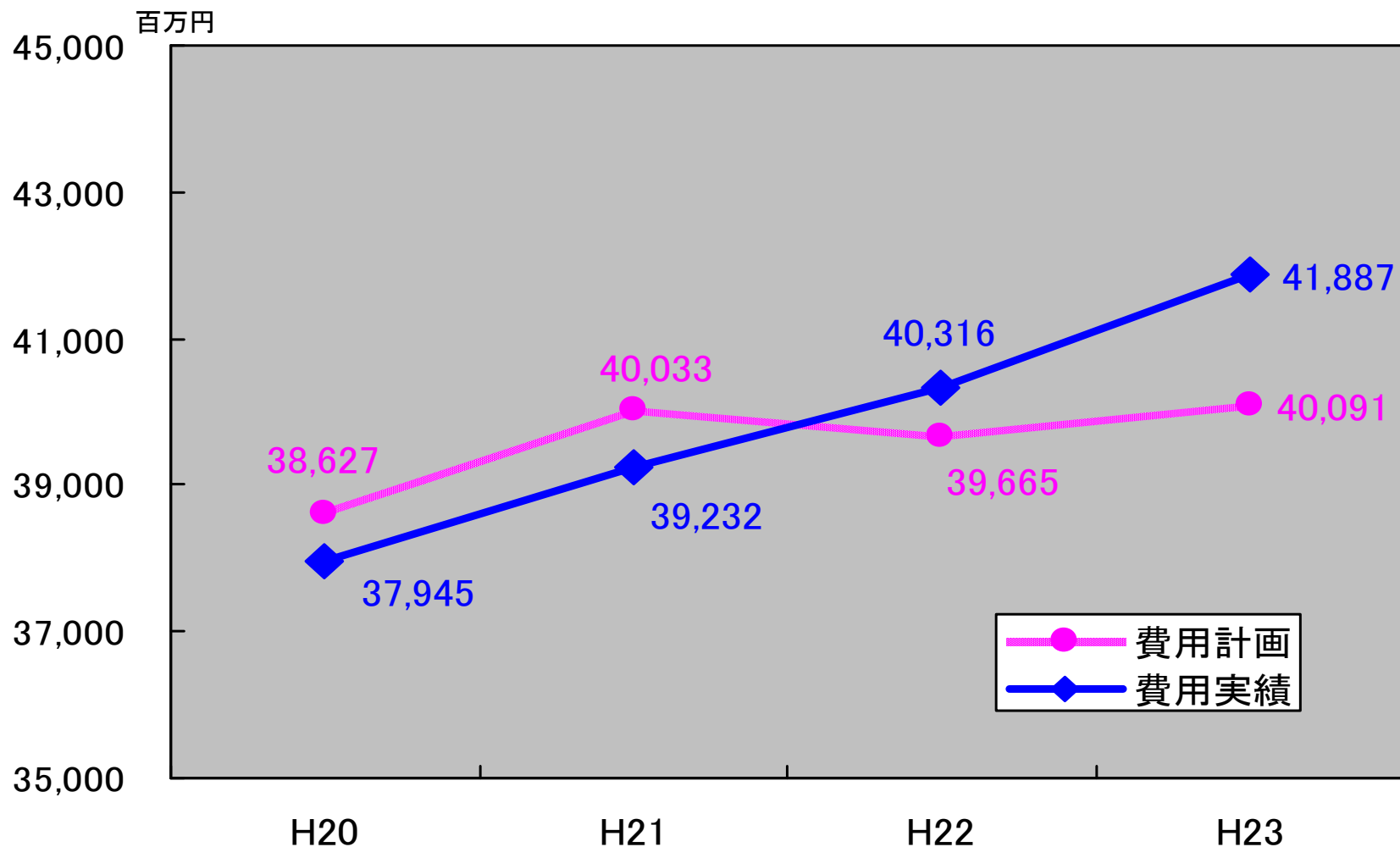
2. 収益の推移(病院事業全体)



H20→H23の収益の伸び

診療報酬改定や患者増等により +17.3%

3. 費用の推移(病院事業全体)

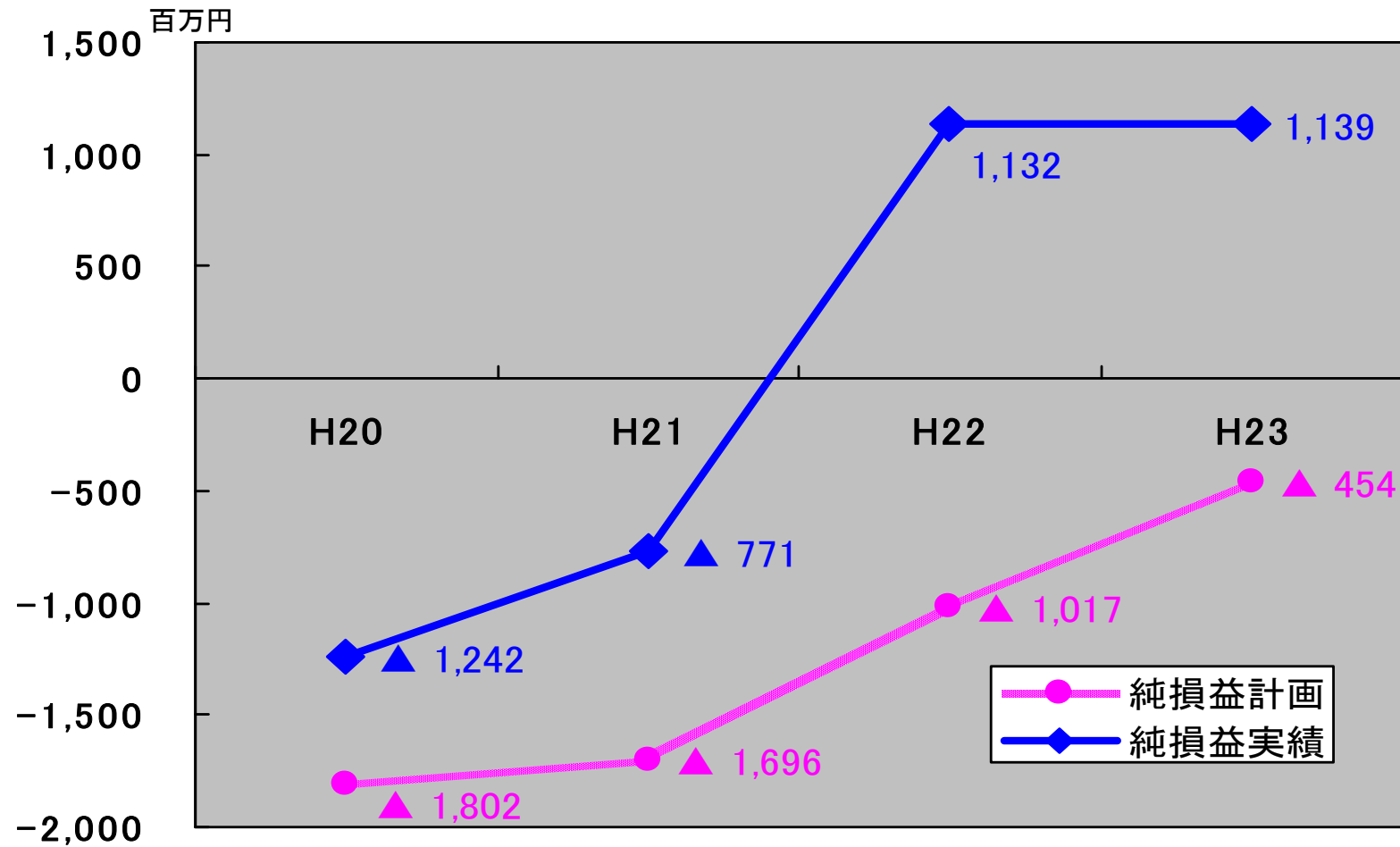


H20→H23の費用の伸び

収益の+17.3%に対し、

材料費や経費の抑制等に努め +10.4%にとどまった

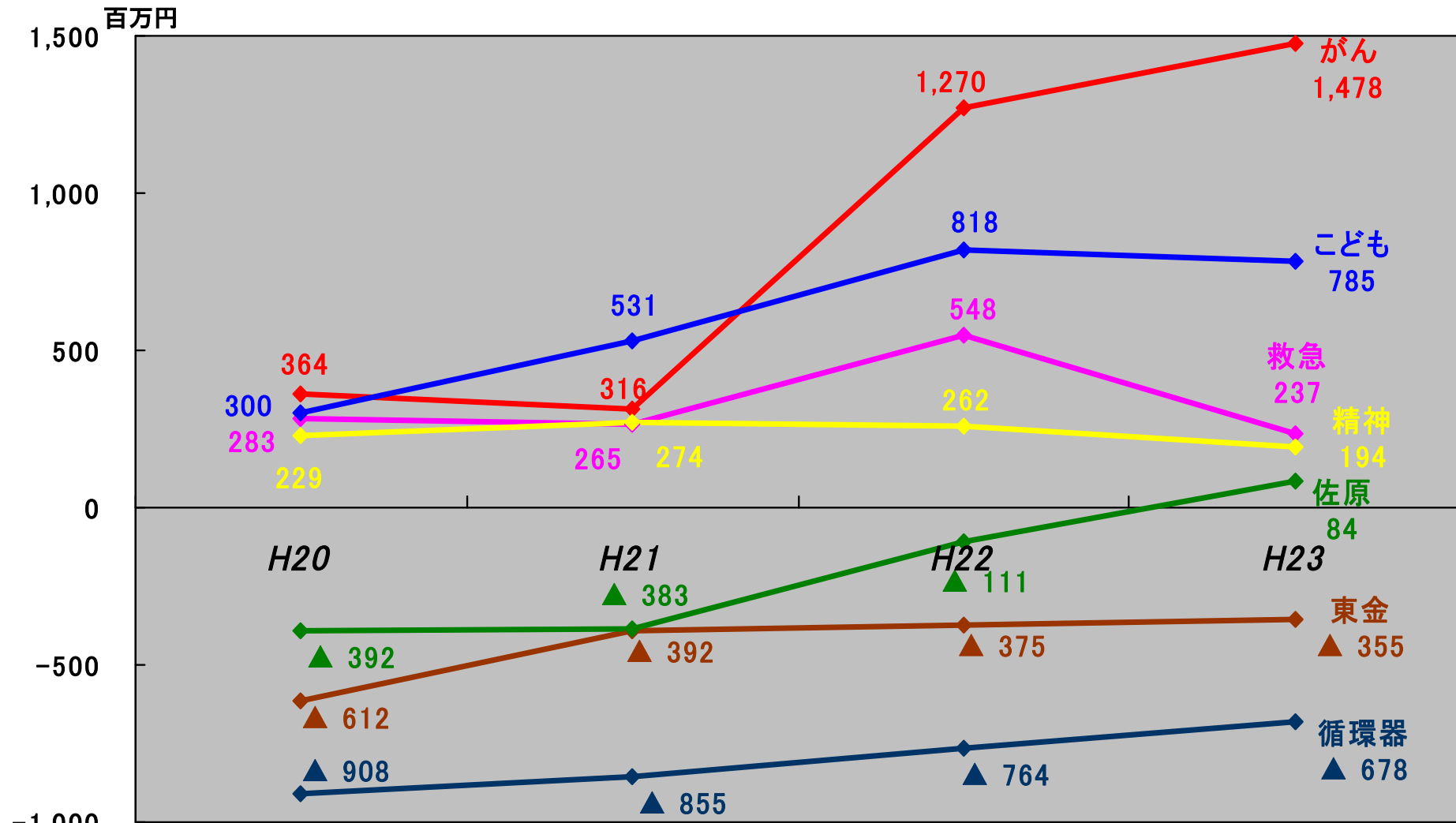
4. 経常収支の推移(病院事業全体)



(改革プラン)H25年度に病院事業全体の黒字化

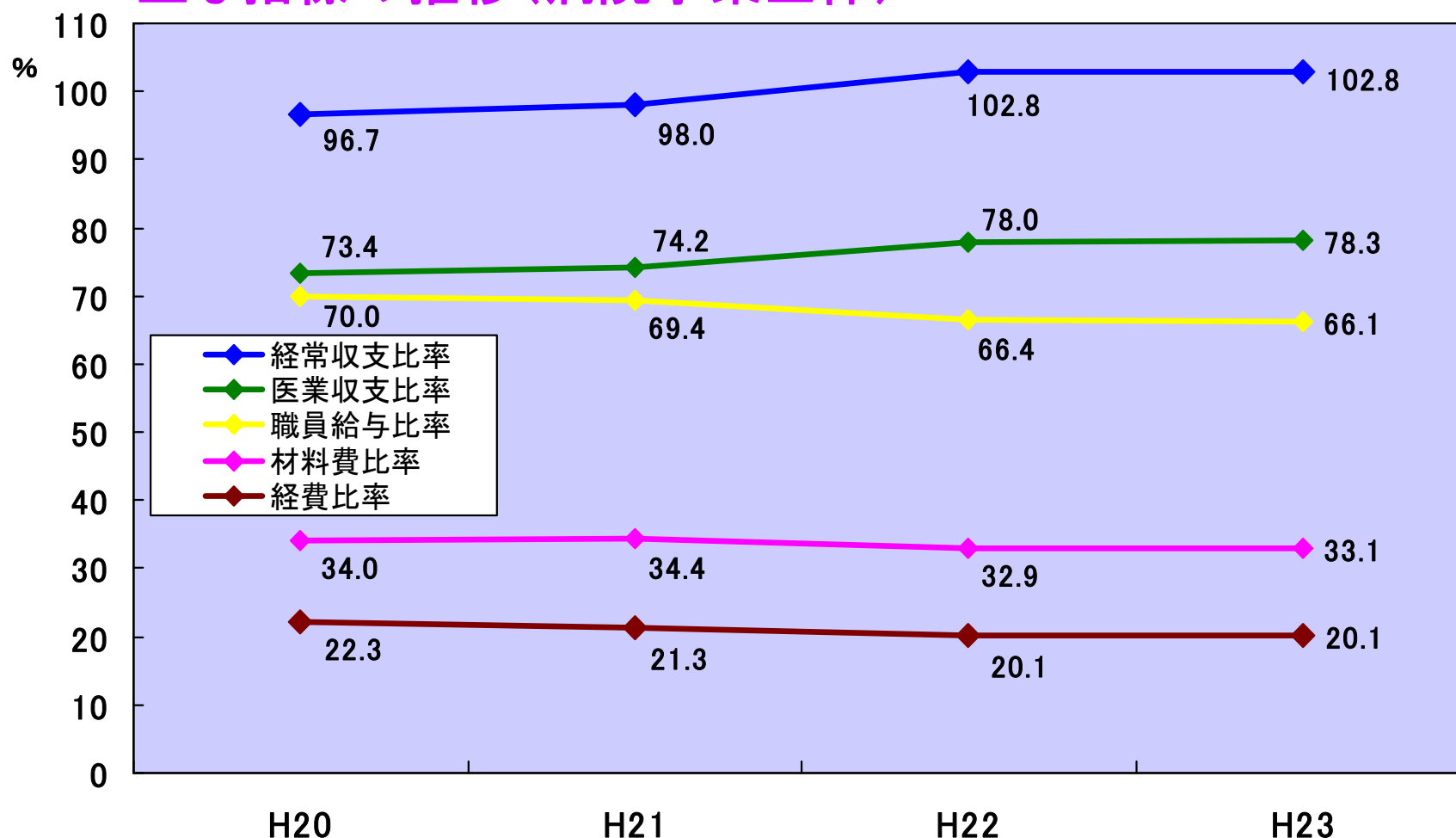
H22年度に病院事業全体の黒字化を達成し、H23年度も2年連続の黒字となった。

5. 病院別収支の推移



佐原病院: H23に病院局設置以来初めて黒字を達成
 がんセンター: 手術件数の増、患者増等による収益増
 こども病院: 病床利用率の上昇、患者増等による収益増

6. 主な指標の推移(病院事業全体)



H20→H23 医業収支比率 73.4%→78.3% 経費比率 22.3%→20.1%

改革プラン期間中の費用削減の主な取組み

- ・薬品の共同購入
- ・診療材料の共同購入
- ・委託業務の見直し(エレベーター保守の一括契約、廃棄物処理業務の入札参加資格見直し等)